

9月は

認知症月間(世界アルツハイマー月間)です

1994年「国際アルツハイマー病協会」は世界保健機構(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓発を実施しています。わが国では、毎年9月21日を「認知症の日」、9月を「認知症月間」と定められており、日高町においても様々な取り組みを実施しています。



オレンジライトアップ

日高町役場の庁舎の一部を認知症普及啓発のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップします。



日時

9月25日(金)

午後6時30分～9時
(雨天中止)

認知症サポーター養成講座

日高町では、認知症になっても安心して暮らせる地域をつくるために「認知症サポーター養成講座」を開催しています。認知症の正しい理解・啓発のための養成研修を受けた「キャラバン・メイト」が各地に出向き、「認知症とは何か?」「どのように接すれば良いか?」等について、わかりやすく説明します。

内容:「認知症とは」「認知症の人への接し方」の解説、ビデオ上映等

時間:1時間～1時間30分程度

対象:日高町民、町内在勤の方

人数:5名程度から

場所:各地区の集会所等

申込先:日高町地域包括支援センター



認知症サポーターとは

認知症について正しく理解し、認知症の方やそのご家族を地域や職場で見守り、支える人を言います。

認知症映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」上映会



認知症に関する正しい理解の普及啓発を目的として、映画上映会を開催します。ぜひ、ご覧ください。

認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリーで、関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ作品です。

日時:9月26日(土)

午後1時30分～3時30分
(開場・受付 午後1時から)

場所:中央公民館

対象者:町内在住の認知症に関心のある方

申込先:日高町地域包括支援センター

締切:9月18日(金)

認知症ケアパス

「認知症ケアパス」とは認知症の方やご家族が、認知症の状態に合わせて、どのようなサービスや支援を受けられるかを表したものです。

以下の施設等で配布していますので、ご利用ください。

- | | |
|--------------|---------------|
| • いきいき長寿課 | • 日高町社会福祉協議会 |
| • ひだか博愛園みちしお | • 古田医院 |
| • 楠山整形外科 | • みかん薬局 |
| • 北出薬局 | • 内原郵便局 |
| • Aコープひだか | • J Aわかやま日高支店 |

【申込先・お問い合わせ先】

日高町地域包括支援センター (いきいき長寿課内) (TEL: 63・3807)

小学6年生～高校1年生相当のみなさまへ ワクチンで防げるがんがあります ～ HPVワクチンは子宮頸がんを予防するワクチンです～

子宮頸がんとは

子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の入り口付近にできるがんです。若い世代の女性のがんの中で多くを占めるがんです。

日本では毎年約1.1万人の女性がかかり、毎年約3,000人の女性が亡くなっています。

患者さんは20歳代から増え始め、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう（妊娠できなくなってしまう）人が年間に約1,000人います。

原因の多くはヒトパピローマウイルス（HPV）の感染

子宮頸がんのほとんどがヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスの感染によるものです。感染は主に性的接触によって起こり、男女問わず生涯に一度は感染するといわれています。

子宮頸がんを予防するには？

HPV感染防止に有効なのが、HPVワクチンの接種です。ワクチンを接種することで大きな感染予防効果が期待できます。

また、子宮頸がんは、早期に発見すれば、比較的治療しやすく予後が良いとされています。早期の発見・治療につなげるため、20歳以上の人は定期的

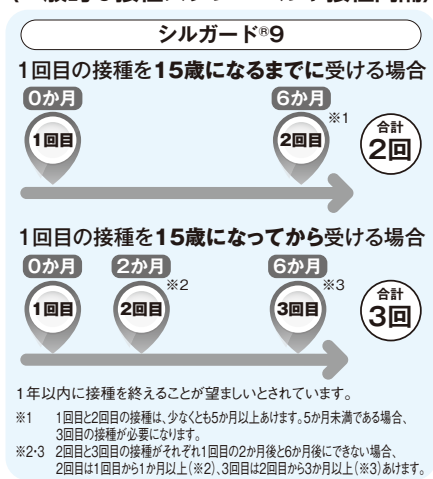
に、子宮頸がん検診を受けることも重要です。

HPVワクチンについて

現在、小学6年生から高校1年生相当の女子を対象に定期接種が行われており、対象年齢の方は無料で接種できます。通常10万円程度かかる接種が公費で受けられる貴重な機会です。

現在、定期接種で接種するHPVワクチンは、子宮頸がんの原因の80～90%を防ぐことができます。

＜一般的な接種スケジュールや接種間隔＞



町では、中学1年生から高校1年生の女子生徒に接種案内を送付しております。小学6年生で接種を希望される方はご連絡ください。

問 子育て福祉健康課

☎ 63・33801

高校1年生相当の女子生徒と保護者の方へ

定期接種の最終年度にあたります。接種回数は合計3回で、完了するまでに約6か月かかります。

公費による接種を希望する場合は、遅くとも今年の9月までに1回目のワクチンを接種する必要があります。

子宮がん検診について

HPVワクチンによる感染予防に加え、20歳以上の人は子宮頸がん検診を定期的に受け、早期発見に努めることが重要です。20歳以上の女性の方は町が実施している子宮頸がん検診を受けることができます。4月に受診券（A4サイズ・薄緑色）をお送りしています。令和9年2月末まで左記の医療機関で実施しています。

病院名	電話番号
ひだか病院	22・1111
天津病院	22・5351
日高マタニティクリニック	24・1103
くすばやし病院	0737・32・2336
しまクリニック	0737・52・7881